



# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 171

令和2年(2020)  
11月8日

主 な 内 容	9月定例会のあらまし	2
	常任委員会の審査報告	3
	討論の内容	4
	議案の採決結果	6
	代表質問	8
	一般質問	10
	12月定例会予定	17
	意見書	18
	特別委員会の活動報告	19
	決議	19
市議会防災訓練	20	

- 令和元年度一般会計決算を認定
- 令和2年度一般会計補正予算を可決
- 「新型コロナウイルス感染症に係る意見書」を全員賛成で可決

議会だよりはこのコード  
からご覧いただけます。



ユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念  
平和未来フォーラム

未来へつなぐ 平和への祈り

～日常が日常である幸せを～

(ユネスコ世界記憶遺産登録5周年記念「平和記念フォーラム」より)

# 9月定例会のあらまし

- 第7次舞鶴市総合計画の初年度となる「令和元年度一般会計決算」を認定
- 新型コロナウイルス感染症対策事業に取り組む「令和2年度一般会計補正予算(第6号)」を可決するとともに、追加議案として提案された地域経済活性化を図る「まいづる地域商品券」発行事業を含む「令和2年度一般会計補正予算(第7号)」を可決
- ごみ処理体制の維持及び受益者負担の適正化を図る「舞鶴市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について」を可決

令和2年舞鶴市議会9月定例会は9月2日に開会。10月6日までの35日間開催し、市長から提案された令和元年度の一般会計等の決算、条例制定などの27議案を審議し、いずれも原案のとおり認定・可決しました。また、議員提案の新型コロナウイルス感染症に係る意見書2件、第80号議案に対する附帯決議1件を可決するとともに、請願1件については不採択としました。

## 予算決算委員会の主な審査内容

令和2年度一般会計補正予算(第6号)

民生児童委員活動費・民生委員地域福祉活動促進費補助

Q 事業内容は

A 民生児童委員活動費に国と同額の1200円を市からの補助金として上乘せし、また、民生児童委員協議会への地域福祉活動促進費補助金を委員数に応じた定額支給から、均等割+委員数割へと増額変更するもの。

社会福祉施設整備事業費補助

Q NPO法人等への施設建設に係る支援策、必要性および要望は

A 施設開設に関しての事前相談に応じており、建設への支援には補助要綱を定めているが、これまでに社会福祉法人以外からの補助要望はない。

新型コロナウイルス感染症対策施設整備事業

Q 西駅交流センターおよび東コミュニティセンターでの事業内容は

A 西駅交流センターは、西側のトイレ3カ所、東コミュニティセンターは、小ホールに隣接するトイレ1カ所の改修を行う。

Q 自動起動ラジオの運用方法は

A 対象地域の世帯に貸し出し、メンテナンスは市が行う。

令和2年度一般会計補正予算(第7号)

「まいづる地域商品券」発行事業

Q 発行数が3万セットとあるがもう少し多くてもよいのではないか。また手軽に購入できる販売場所が必要と

考えるがどのように予定しているか

A 発行数は平成27年に発行したプレミアム付き商品券の発行実績を参考に3万セットとした。販売場所については地元商店街とも相談し、密にならない工夫をしながら身近で手軽に購入できるように取り組んでいく。

病院事業会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症に係る医療従事者への慰労金給付

Q 給付対象者は

A 支給対象期間に在職し要件を満たす職員と嘱託医師、委託業者、バス運転手等、合計13名分である。

国民健康保険事業会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険料減免

Q 国民健康保険料の減免対象数、金額および見込み額は

A 8月末現在で、66件、減免決定総額1668万円、今後の減免見込みは、元年度2ヶ月分400万円、今年度分2700万円である。

令和元年度一般会計決算

災害時要援護者支援対策事業費

Q 情報提供手段の現状と今後の取り組みは

A 個別支援計画の策定により、避難体制の整備に努めている。平常時から支援体制を構築し、より速やかな情報提供と安否確認ができることを目指し、民生児童委員、自治会長等にも情報共有しており、今後もこの取り組みを継続する。

生活困窮者自立相談支援事業費

Q 延べ相談件数・実相談人数の増加要因は

A 平成27年設置の生活支援相談センターの

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会1件、市民文教委員会6件、産業建設委員会3件、総務消防委員会3件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

## 常任委員会の審査報告

役割が市民や他の関係機関等に周知された結果である。

### 舞鶴引揚の日発信事業費

**Q** 引揚の日の認知度について、3年間で100%にするとのことだが、今後の事業展開は

**A** 市役所ロビーでの栈橋模型の展示のほか、ロゴマーク入りの広報物の掲示等に取り組み、引揚の日の周知を図る。また、東西市街地で認知度調査を実施し、その結果を踏まえて今後の進め方を検討する。

### 赤れんがコワーキングスペースの活用実績は

**Q** 赤れんがコワーキングスペースの活用実績は

**A** 約130社・3千人の利用があったほか、約70回のイベントが開催されるなど、新たな交流の機会を創出した。

### 特色ある教育活動支援事業費補助金

**Q** 活動内容と成果は

**A** 小学校では引揚記念館や浄水場等の見学、中学校では幼稚園や福祉施設等での職場体験を行ったことで、ふるさと舞鶴への愛着を育んでいる。

### 令和元年度病院事業会計決算

**Q** 事業報告書記載の計画的な入院とは

**A** 個々の患者の状態を踏まえ「医療の場」から「生活の場」に移行していく退院支援を強化する中で、入院待ちの患者もできるだけスムーズに引き受けができるように努めている。



常任委員会審査の様子

理した同体育館の類似施設（柔道場・剣道場）の利用料金をもとに、これらの平米単価とレスリング場の面積を乗じて利用料金を設定した。

## 常任委員会の主な審査内容

### 産業建設委員会の主な審査内容

都市公園条例の一部を改正する条例制定

都市公園（青葉山ろく公園・自然文化園）の管理について、市直営施設への移行および文化公園体育館へのレスリング場の設置等に伴う所要の改正を行うもの。

**Q** 文化公園体育館に設置されるレスリング場の利用料金の算定基準は

**A** 受益者負担に関する基本方針に基づき整理した同体育館の類似施設

### 市民文教委員会の主な審査内容

印鑑条例の一部を改正する条例制定

個人番号カードを使って、コンビニ等の多機能端末機で印鑑登録証明書の交付を行えるよう所要の改正を行うもの。

**Q** コンビニ事業者への証明書発行に伴う委託料はいくらか。また、利用可能な店舗数は

**A** 証明書1通につき117円を、コンビニ事業者への委託手数料として市が払う。また、市内の約30店舗で利用可能となる。

廃棄物の減量化等に関する条例の一部を改正する条例制定

可燃ごみの処理手数料を改めるとともに、不燃ごみの処理手数料を定める等所要の改正を行うもの。

**Q** ごみ処理手数料の見直しに伴う新たな事業は

**A** ペットボトル、プラスチック容器包装類の月2回収集、ごみ出しが困難な要介護支援の高齢者等への戸別収集、在宅医療等での不燃ごみ等の排出支援に取り組み。

### 福祉健康委員会の主な審査内容

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定

関係省令の改正に伴い、指定居宅介護支援事業所における管理者の要件を緩和する等所要の改正を行うもの。

**Q** 本市の現状は

**A** 8月現在で、市内25事業所のうち、3事業所が主任ケアマネが不在である。

**Q** 主任ケアマネになるための研修場所は

**A** これまでは京都府

### 総務消防委員会の主な審査内容

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定

行政委員会等の委員に対する報酬について、実態の把握、支給方法や報酬額の水準の検証を行い、職責に見合った報酬となるよう改正を行うもの。

### 京都府中・北部地域消防指令事務協議会の設置

新たな消防広域連携により亀岡市以北6消防本部で消防指令センターを共同整備することとし、そのための協議会を設置するもの。

**Q** 地理の面で指令に

**A** 各地域の消防職員の配置と、精度の高い位置特定システムにより対応可能と考える。

南部だけだったが、今年度から舞鶴市のYMC Aにて受講が可能となる。

討 論

令和2年10月6日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

9議案に反対、18議案に賛成する。決算では、赤れんがパークを中心に一大交流拠点とするための赤れんが周辺等まちづくり事業は、税金の使い方の優先順位が違うと指摘してきた。コロナ禍の下、観光のスタイルが大きく変わっていく。事業の情報の積極的な公開を求めらる。市民生活に身近な公共事業や防災事業にこそ、しっかりと予算を付けるべきである。舞鶴版 Society5.0は、自治体業務の産業化、企業利益を生む仕組みで、

討論  
コロナ禍の暮らし・生業応援の市政を



日本共産党議員団  
小杉悦子

市民の個人情報や蓄積され匿名化すれば、本人の了解なし取り扱われる。この仕組みの構築は、情報流出の懸念がある。

ごみ値上げ、やめるべき

可燃ごみの値上げ、不燃ごみの有料化、持ち込み手数料の徴収もやめるべき。コロナ禍の下、厳しい市民生活に追い打ちをかけるものであり、条例案の新たな内容が、本会議の中で示される異例のもの。条例そのものに問題があり、ごみの減量の具体的施策が示されない以上、市民理解は得られない。



不燃ごみの有料化で暮らしは

討論  
持続可能で規律ある財政運営を評価する

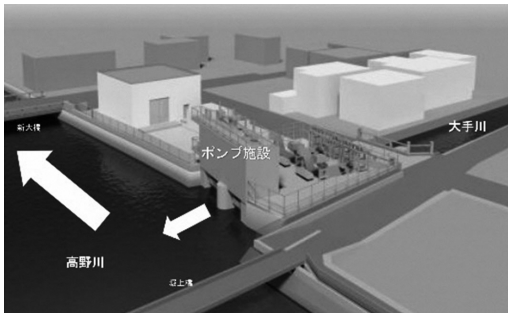


新政クラブ議員団  
今西克己

全議案に賛成する。

令和元年度一般会計決算について、歳入が減少する厳しい状況の下、臨時財政対策債などが減少、国庫支出金や府支出金の確保にも努めていただいた結果、令和2年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は7、485万円の黒字となっている。持続可能な財政運営がなされており、今期財政運営の指標となるべき財政力指数は、0.681でわずかに下降したが、財政の硬直性を示す経常収支比率は、前年度比

1.7ポイント減の93.9%と大幅に改善していることを高く評価する。水道事業会計決算では、水道施設や管路の整備、中でも上福井浄水場の施設更新事業、主要管路の耐震化の整備、また、下水道事業会計決算では、水洗化総合計画の達成に向け、未整備地域への布設、幹線の更新を進めていただいていることを高く評価する。今後において、浸水対策事業の大手排水ポンプ場等各種事業の促進を期待する。



大手排水ポンプ場の完成イメージ図

討論  
制度設計を明らかにした上での条例改正を



会派に所属しない議員  
嶋田秋津

第80号議案に反対し、残る議案には賛成する。

第80号議案の可燃ごみの値上げ、不燃ごみ有料化は、ごみそのものの削減に資する政策として一定効果があるものと理解している。しかし、直接搬入手数料の徴収方法を従量制に検討していくことが本会議の市長答弁で明らかになり、立案当初と現状の計画に変更が生じている。現案が来年7月にそのまま施行されるとしても、すぐに制度が変わる

となれば市民生活に混乱を来すことが容易に想像でき、もし施行前に本条例が改正されるならば、今回の改正案そのものの意味が問われる。改正ありきの条例案を通そうとする行為自体が、市民に対して不誠実である。また、値上げならびに有料化とごみ排出における利便性の向上は、必ずセットであるべきと考えている。明確な制度設計が示されないままでは、利便性の向上が保障されるとい担保ができない。以上のことから、第80号議案には反対する。



条例施行時に廃止される公共拠点ボックス

令和2年10月6日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

持続可能な財政運営の  
堅持を評価

討論



公明党議員団  
杉島久敏

全議案に賛成する。

令和元年度一般会計決算では、歳入・歳出ともに前年度より減少となった。しかし、実質収支額は黒字であり、経常収支比率も改善されている。これは厳しい財政状況であるにもかかわらず、得られた財源の範囲内において持続可能な財政運営が堅持されたものと評価し、認定する。

令和2年度一般会計補正予算（第6号）では、特に大規模災害に備えた準備対応や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「新しい生活様式」

に向けた事業内容が示され、また、追加補正（第7号）により「まいづる地域商品券」の発行が計画されている。地域経済活動の活性化が期待されることから賛成する。

条例の一部改正は必要

第80号議案の「廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例の一部改正」については、ごみ処理体制の維持・受益者負担の適正化を図る上において、必要な改正である。附帯決議が提案されていることから、丁寧な対応をお願いし、賛成する。



舞鶴市リサイクルプラザ

便利で豊かな田舎暮らしが  
できるまちを

討論



創政クラブ議員団  
高橋秀策

全議案に賛成する。

令和元年度一般会計決算は、未来型のスマートなまち「便利な田舎暮らしができるまち」を目指し、歳出では、「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」に取り組みされている。

歳入では、地方交付税、府支出金、国庫支出金などの有利な財源確保に努めたこと、また、市政運営にあたっては、公共施設マネジメントや債権管理、受益者負担の適正化、人事評価制度の導

入・多様な任用制度の活用など、効果的・効率的な組織運営がされていることを評価する。さらに住みよいまちになるよう、AIやIoTといった先端技術の活用や新幹線誘致のほか、補助率10分の7・5の防衛省支援がある赤レンガパーク整備事業、由良川水防対策など、心が通う便利で豊かな田舎暮らしができるまちの実現に向け、創政クラブ議員団としても積極的に取り組んでいくことを申し上げて討論とする。



新幹線誘致で豊かな田舎暮らしを

FMまいづるに出演していきます

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」（午後3時から、再放送は午後9時から）に議員が出演しています。

定例会の報告をはじめ、議会の仕組みや議員の活動についても話していますので、ぜひお聴きください。



これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「舞鶴市議会のホームページ紹介」など

《今後の放送予定》

11月13日（金）

出演議員：水嶋議員、小西議員、尾関議員

放送テーマ：「常任委員会活動報告」

「議会あれこれ、12月定例会の案内」

12月18日（金）

出演議員：新議長ほか

放送テーマ：議長就任あいさつ

「12月定例会議案案内（主な議案紹介）」



過去の放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



令和2年9月2日および10月6日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。

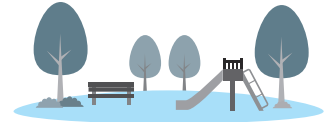


### 全会一致で可決した条例議案

- 都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 文化施設条例の一部を改正する条例制定について
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

### 全会一致で承認・可決したその他の議案

- 専決処分の承認を求めることについて（損害賠償の額の確定）
- 財産の取得について…GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備としてのタブレット端末等の取得
- 財産の取得について…GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備としてのタブレット端末用充電保管庫の取得
- 市道路線の変更について



【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択  
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	仲井玲子	西村正之	議決をした日
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無党派	無党派	無党派	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	10月6日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	10月6日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	10月6日	

☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

# 議案の採決結果

(令和2年9月定例会)

会期:9月2日～10月6日

## 全会一致で可決・認定した予算・決算議案

- 令和2年度一般会計補正予算(第6号)
- 令和2年度病院事業会計補正予算(第2号)
- 令和2年度国民健康保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和2年度介護保険事業会計補正予算(第1号)
- 令和元年度水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和元年度下水道事業会計の決算の認定及び利益の処分について
- 令和元年度病院事業会計決算の認定並びに利益及び資本剰余金の処分について
- 令和元年度貯木事業会計の決算の認定について
- 令和元年度駐車場事業会計の決算の認定について
- 令和2年度一般会計補正予算(第7号)



## 全会一致で可決した議員提出議案

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症に係る意見書

## 賛否が分かれた議案

議案名等	議員名簿等(会派内は五十音順)						今西克己	上野修身	鯛慶一	
	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	新政	新政	新政	
市長提出議案	令和元年度一般会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	令和元年度国民健康保険事業会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	令和元年度介護保険事業会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	令和元年度後期高齢者医療事業会計の決算の認定について	26	25	21	4	0	認	○	○	○
	職員の分限に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	舞鶴市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	印鑑条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について	26	25	18	7	0	可	○	○	○
京都府中・北部地域消防指令事務協議会の設置について	26	25	21	4	0	可	○	○	○	
議員提出議案	廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定に対する附帯決議	26	25	18	7	0	可	○	○	○
請願	可燃ごみの値上げ、不燃ごみ有料化等の撤回を求める請願	26	25	4	21	0	不	×	×	×

令和2年9月14日に本会議を開き、各党派が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問

令和2年 舞鶴市議会9月定例会代表質問

令和2年9月14日

順番	党派名及び氏名	質問事項	
1	公明党議員団 小谷 繁雄	1 コロナ禍における今後の財政運営について	2 ごみ処理手数料の見直しについて
		3 地域共生社会の実現に向けた取組について	4 学校における働き方改革の推進について
2	創政クラブ議員団 山本治兵衛	1 令和元年度の予算執行における成果について	2 ウィズコロナ社会における舞鶴の在り方について
		3 財源の考え方について	4 ごみ処理手数料について
		5 京都舞鶴港の振興について	6 舞鶴市消防の在り方について
3	日本共産党議員団 小西 洋一	1 市長の市政運営について	2 市の産業及び港湾振興について
		3 本市の新型コロナウイルス感染症対策について	
4	新政クラブ議員団 今西 克己	1 本市の財政運営について	2 市政運営について
		3 多世代交流施設(仮称)まなびあむについて	4 第7次舞鶴市総合計画について
		5 京都舞鶴港の振興と機能強化について	6 JMU舞鶴事業所について
		7 舞鶴警察署との連携について	

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



の考えを問う。業について、市に支援する本人と家族を中心



「断らない相談」支援をする各相談窓口

質問 個人や家族が抱える問題が複雑化・多様化し、介護・障害・子育てなど、制度や分野ごとの対応が難しい相談も増加傾向にある。解決できない状況を放置せず、あらゆる部署との連携を図り、市民が安心して暮らせる社会の実現が求められる。国では社会福祉法が改正され、相談・参加・地域づくりの3つの支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業が実施される。制度の縦割りを打破し、制度に人を合わせるのでなく、悩みを抱える本人と家族を中心

答弁 各相談窓口における支援体制の連携をさらに効果的に機能させるため、現状を洗い直し、出てきた課題を精査し重層的支援体制整備事業に結び付ける。各窓口の担当者による新たな多機関連携体制を構築するネットワーク会議を組織し、相談内容の複雑化・複合化したケースでも、本人や家族の課題に寄り添える体制を整備する。

代表質問  
Q 介護・障害・貧困など相談窓口の対応は重層的支援体制整備事業に結びつける



公明党議員団  
小谷 繁雄



令和2年9月14日に本会議を開き、各会派が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 代表質問

代表質問

**Q** ごみ処理手数料の改定対策は十分か

**A** 市民にしっかりと説明する



創政クラブ議員団  
山本治兵衛

**質問** ごみ処理手数料の見直し方針が策定された。その目的や概要については市民からさまざまな意見があり、丁寧な説明が必要である。寄せられた意見には、地域の集積所にごみが出せない方々への配慮や、処理場への直接搬入について、手数料の二重取りや搬入量に応じた料金制に関する意見があった。どのような対策を行うのか市長の考えを問う。

**答弁** 本市のごみ排出量は府平均よりも多く、資源化率は全国平均よりも低い。また、ごみ処理施設の維持管理経費も増加する中、廃棄物減量推進審議会から、ごみ処理手数料を見直すべきとの中間答申を踏まえ、可燃ごみ手数料の値上げや不燃ごみ3品の有料化、処理場への持ち込みについて手数料を徴収する予定とした。しかし市民からは、さまざまな意見を頂戴したことから、より理解が得られる施策に取り組んでいく。また見直しに至った経緯や必要性を丁寧に説明し、理解と協力をお願いしていく。

料を見直すべきとの中間答申を踏まえ、可燃ごみ手数料の値上げや不燃ごみ3品の有料化、処理場への持ち込みについて手数料を徴収する予定とした。しかし市民からは、さまざまな意見を頂戴したことから、より理解が得られる施策に取り組んでいく。また見直しに至った経緯や必要性を丁寧に説明し、理解と協力をお願いしていく。



処理場前の渋滞  
解決すべき課題の1つ

代表質問

**Q** パーム油発電中止の説明会を開催すべき

**A** 説明責任は果たしている



日本共産党議員団  
小西洋一

**質問** 喜多地区におけるパーム油発電所計画は、行政不信を残したまま収束した。ある新聞に「市は説明責任を果たさねばならない」と掲載。この事業を総括するとともに、市の責任で地元の説明会を開催し、市としての経過と判断、今後の対応について住民にきちんと説明する必要があるが、市長の見解を問う。

**答弁** 当初から一貫して、住民の生活を犠牲にした施設の建設は推進しない、地域経済



舞鶴の豊かな環境をいつまでも

の大きなメリットを説明してきており、副市長や市の幹部が出席して理解を求めてきた。市としての説明責任は果たしている。

**質問** 今年冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行も警戒される。府と連携して市独自に「発熱外来」を設置し、市民の相談に適切に対応してはどうか。

**答弁** 必要性は認識しているが、この事業は京都府が主体となって進めるもの。地域の先生方や病院、府と話し合い、発熱者への対応を進めていきたい。

**質問** 旧市民病院跡地活用は、市民の健康増進と多様な交流・賑わいの拠点として整備が進められ、1階に市場産品の直売所、4階に若者等の交流拠点、2・3階に文庫山学園と東公民館の機能を移転集約した多世代交流施設、仮称「まなびあむ」が整備の予定。少子高齢化、地域人口の減少、高齢者人口の増加など本市地域社会が抱えるさまざまな課題解決に向け、この施設はどのような役割を果たそうとしているのか。

**答弁** 地域社会を取り巻く環境は少子高齢化や地域人口の減少、単身世帯の増加等大きく変化し、人のつながりの希薄化や孤立化、地域の

**質問** 旧市民病院跡地活用は、市民の健康増進と多様な交流・賑わいの拠点として整備が進められ、1階に市場産品の直売所、4階に若者等の交流拠点、2・3階に文庫山学園と東公民館の機能を移転集約した多世代交流施設、仮称「まなびあむ」が整備の予定。少子高齢化、地域人口の減少、高齢者人口の増加など本市地域社会が抱えるさまざまな課題解決に向け、この施設はどのような役割を果たそうとしているのか。

代表質問

**Q** 多世代交流施設（仮）まなびあむを問う

**A** 将来を見据えた幅広い世代の交流を創出



新政クラブ議員団  
今西克己

担い手不足といった課題が新たに生まれていく。これらに対応、貢献するため、舞鶴版社会教育基本理念である「ゆるやかに人がつながる地域」の実現に取り組む、将来を見据え、現在のニーズにあった新しい魅力と機能を備え、子どもから高齢者まで幅広い世代の交流と賑わいを創出し、まちづくりの拠点として整備していく。



まなびあむイメージ図

令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

## 令和2年 舞鶴市議会9月定例会一般質問

令和2年9月14日、15日、16日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	谷川 真司	1 旧市民病院跡地利活用について	
			2 東舞鶴地区の浸水対策について	
2	一括	杉島 久敏	1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響における中学生支援について	
			2 再生可能エネルギーについて	
3	一問一答	眞下 隆史	1 市民交流の場（世代別）の創出について	2 防災情報伝達手段多重化整備事業について
			3 新型コロナによる市財政の課題について	
4	一問一答	小杉 悦子	1 財政運営について	2 子ども一人ひとりを大切にする、感染症にも強い少人数学級について
			3 市民の安心・安全を確保する消防について	4 障害者地域生活支援センターと地域活動支援事業について
5	一括	仲井 玲子	1 管理不全空き家について	
			2 地域の課題解決となるビジネスの創出について	
6	一問一答	川口 孝文	1 ごみ収集について	2 ウィズコロナ対策の現状について
			3 パブリック・コメントについて	
7	一問一答	松田 弘幸	1 医療連携について	2 指定管理について
			3 熱中症対策について	
8	一問一答	野瀬 貴則	1 土砂災害特別警戒区域について	2 住民避難について
			3 市民と行う防災・減災について	
9	一括	石束 悦子	1 ごみ減量と環境にやさしいまちづくりについて	
10	一括	田村 優樹	1 旧市民病院跡地利用について	
			2 学校教育について	
11	一問一答	肝付 隆治	1 少子高齢化と人口減少によって将来深刻化する課題と対策について	
			2 これからの地域コミュニティ施策について	
12	一括	水嶋 一明	1 高野川流域における治水対策について	
13	一問一答	伊田 悦子	1 舞鶴市老人福祉センター「文庫山学園」の移転問題について	2 本市の人事評価制度の考え方について
			3 子育て安心のまちづくりについて	4 平和に貢献する本市の役割について
14	一問一答	鴨田 秋津	1 地域の課題と活性化について	
15	2分割	高橋 秀策	1 多々見市政について	2 スマートウェルネスシティについて
			3 教育について	
16	一問一答	田畑 篤子	1 新型コロナウイルス感染症の第二次補正予算、医療・介護従事者慰労金について	2 医療的ケア児の通園について
			3 市民病院機能について	4 在宅療養者の廃棄物処理について
17	一問一答	上野 修身	1 消防の広域化・連携について	

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問



旧市民病院西棟

**質問** 旧市民病院の跡地利用には、文庫山学園の移転も含まれる。「市民の健康増進と多様な交流・賑わいの拠点」として整備を指すとして整頓しているが、進捗状況を尋ねる。

**答弁** 1階は、農産物販売所が入居し、2、3階部分の文庫山学園の事業継承については、体操教室など健康増進の事業は、実施方法を直した上で継続

**質問** 近年特に豪雨、台風災害が増えている。東地域の浸水対策について進捗状況を問う。

**答弁** 令和元年度に計画策定を行った。現在は、ハード対策の規模や、優先順位を定める「雨水管理総合計画」の策定を進めている。

**Q** 東舞鶴の浸水対策を問う

**A** 雨水管理総合計画を進める

実施する。一部のサークル活動については、まなびあむの構造上、活動が困難なことから、体育館などの施設での活動をお願いする。自主的なサークル活動は使用料負担をお願いする。

**Q** 文庫山学園の事業継承について問う

**A** 見直し継続実施する



創政クラブ議員団  
谷川 眞司

**質問** 高校入試を控えた受験生が新型コロナウイルスに感染した場合における「追試」などの救済措置をどうするのか。進路の決定は後に大きな影響を与えることになりかねないことから十分に検討しておく必要がある。救済措置に関しては、府の管轄となるが詳細についてはどうなっているのか。なるべく早い段階で新型コロナウイルスウィルス感染の際における明確な救済措置の提示・連絡が必須である。受験生が安心感を持って入試に臨める体制づくりと府教育委員会との連携による取り組みについて問う。

**答弁** 高校受験の救済措置については、

国から6月に発出されている「令和3年度高等学校入学者選抜等の実施に当たっての留意事項」において、追検査等の機会を設け、受験機会の確保に努めるよう通知されており、京都府教育委員会からも通知があった。受験生が、夢と希望に満ちた進路の実現ができるよう、学校と連携し取り組みを進めていく。

**Q** 新型コロナウイルス感染症時の受験生救済措置は夢と希望に満ちた進路の実現に取り組む

**A** 進路の実現に取り組む



公明党議員団  
杉島 久敏



2学期がスタートした中学校

**質問** 成人年齢が18歳に変更される令和4

**Q** 来年度以降の成人式開催は従来どおりに開催する

**A** 従来どおりに開催する

新型コロナ臨時交付金の課題は、補償メインの事業は期間に比例して支給額が増加すること。支給額が予算超過しても国による対応が望ましく、期間延長に伴う交付金の補充や、さらには長期間事業の企画ができるよう国に求めたいと考えるが市の見解を問う。

**答弁** 地方公共団体の財政運営に支障がないよう適切な財政措置と、長期的視野で複数年度事業が行えるよう、臨時交付金の基金化を国に求めていく。

**Q** 新型コロナウイルス臨時交付金の課題を国に求め

**A** 自治体に対し適切な財政措置を要求する



新政クラブ議員団  
眞下 隆史



成人式会場の「赤れんがパーク」

年を含む今後の成人式について、会場・対象年齢・開催月はそのようになるのか。また、来年1月の成人式はコロナ禍で、参加者に誹謗中傷が向かないよう、ソーシャルディスタンスをどのように徹底するのかを問う。

**答弁** 従来どおり赤れんがパークで、1月の成人の日の時期に、20歳を対象に実施する。感染症感染防止のため参加人数縮小、時間短縮、会場の分散等、開催方法を検討する。

令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



少人数学級でのびのびと

**質問** 「地域循環型」のまちづくりへの転換は、雇用確保や子育て・高齢者等の社会保障の充実など、市民の可処分所得の増加や地域経済の活性化につながり、市の財政にも反映する。決算で、農林水産業費・商工費の歳出構成比は、2・3と3・5と少なく、重点の置き方が弱いと考えらるがどうか。

**答弁** 地域内で資金を循環させるだけでなく、地域外の資金を獲得し、流通量を増加させる両面の取り組みを進めることにより、税収確保につながる。

**Q** 地域循環型の経済で地域経済の活性化を  
**A** 地域外の資金獲得で流通量の増加を図る



日本共産党議員団 小杉悦子

**Q** 空き家への予防・活用策について問う  
**A** 適正な対応と解消に積極的に取り組む



会派に所属しない議員 仲井玲子

**Q** スプレー缶等の収集の方向性を問う  
**A** 穴を開けず出せるよう機器導入等を検討



創政クラブ議員団 川口孝文

**質問** 平成30年札幌市で、スプレー缶等の不適切なガス抜きが原因で大規模な爆発火災事故が発生した。この事故を受け、環境省からの「廃エアゾール製品等の排出時の事故防止について」の通知文書や、消防庁からの「札幌市爆発事故を踏まえた廃エアゾール製品等の排出時の火災防止について」の事務連絡が発簡された。本市もスプレー缶等は穴を開けずに回収する方向へ舵を切るべきと考えるが、今後の方向性を問う。

**質問** 増加する管理不全空き家が問題となっており、所有者に対する連絡等の対応が地域だけでは困難になっている。空き家は放置期間が長くなるほど物件の価値が低下するほか、相続の代替わりで相続人の範囲が拡大し、所有者不明となるケースが懸念される。また、行政による空き家の撤去には多大の費用が掛かるなど課題が多い。空き家相対人への、売却・賃貸・終活といった次なる活用を促す案内や、家屋管理者としての自覚の喚起、企業へのサテライトオフィスとしての賃貸等、活用対策に関する市の見解を問う。

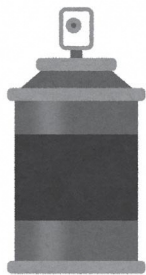
**答弁** 管理不全空き家の問題や対策については固定資産税の納付通知にチラシを同封し、啓発を行っている。また、不動産事業者等とも連携を強化するとともに、サテライトオフィスやテレワーク拠点としての活用も手法の一つとして、企業側のニーズと空き家所有者とのマッチングなどを把握しながら検討する。

**答弁** 本市においては現在、リサイクルプラザに専用の機器が導入できてい

ないことから、市民の皆さまには、穴を開けて排出していただくようご協力いただいている。スプレー缶やカセットボンベについては、環境省から「穴を開けずに中身を出し切り排出していただき、ごみ処理施設において処理する体制を整えるよう」通知が出ている。本市においても穴を開けずに出していただくよう機器の導入等を検討していく。



西舞鶴のまちなみ



スプレー缶穴あけなしへ進め

令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

**Q** 全国保健医療情報ネットワークの活用は

**A** 対応できるよう準備



公明党議員団  
松田弘幸

**質問** 患者の同意の下、薬剤情報や特定健

診情報をマイナンバーカードを用いて確認できるシステムや、医療機関の間で治療や投薬などの患者情報を共有できる「全国保健医療情報ネットワーク」の構築が全国で進んでいるが、本市の対応を問う。

**答弁** 骨太の方針で示され、全国規模で取り組みが進められていることから、本市としては、国の動きを注視し、必要に応じて対応できるように準備する。

**質問** 患者の同意の下、薬剤情報や特定健

診情報をマイナンバーカードを用いて確認できるシステムや、医療機関の間で治療や投薬などの患者情報を共有できる「全国保健医療情報ネットワーク」の構築が全国で進んでいるが、本市の対応を問う。

**Q** 熱中症対策に冷水機を

**A** 水筒で水分補給

**質問** 学校施設は児童生徒が1日の大半を過ごす場であり、休日



車椅子利用者対応の冷水機

**答弁** 水筒を持参して、こまめな水分補給を指導している。特に夏場は量を増やすようにして、水道やお茶の補充も行っている。引き続き、水筒持参による水分補給を指導する。

**Q** レッドゾーン上の市民に周知徹底を求め

**A** ハザードマップや自治会にて周知を図る



新政クラブ議員団  
野瀬貴則

**質問** 平成26年に発生した広島市の土砂災害

により、土砂災害防止法が改正され、本市には約1800箇所土砂災害特別警戒区域、通称レッドゾーンが指定された。この区域に住む市民は土砂災害のリスクが高く、災害時には命を守るため、すぐに避難が必要となる。本市では該当の市民に

**質問** 市街化区域内の建築後間もない住宅において浸水による被害が発生している。建築の前に、市から水害リスクがあることの事前周知ができないか。

**答弁** 法律改正により8月から、不動産業者による説明が義務化されたが、市としても浸水の恐れがある区域について、引き続き周知に努める。

に対してどのように周知をしているのか。



インターネットで確認できる京都府土砂災害マップ

**Q** 袋代と持ち込み料の徴収は

**A** 指定袋でなくても持ち込めることを検討



日本共産党議員団  
石束悦子

**質問** ごみの直接搬入手数料について、今日の市民生活は、働き方や暮らし方が多様化する中、「直接持つて

入っているのになぜ、手数料を取るのか」の声や「不燃ごみはごみ袋の有料化と合わせて二重取り」との声も多

**質問** 第二波ともいわれるコロナの感染症拡大は、市民生活の不安や地域経済の落ち込みに影響を与えており、今回のごみの値上げ、有料化の条例制定は、血も涙もない政策ではないか。せめてコロナ禍が収まるまで延期し、市民参加による議論をすべきではないか。

**答弁** 市民の方が、ごみを清掃事務所やリサイクルプラザへ持ち込まれる際、家庭ごみは、指定ごみ袋でなくとも、透明ごみ袋でも

**答弁** 令和3年7月からの実施に向け、市民の皆さまに経過や必要性、手数料算定の考え方のほか、市民サービスマップを説明していく。



混乱が予想されるリサイクルプラザ

### 一般質問

令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

行政は市民を支援する  
という体制を意識し  
なければならぬ。民  
意を行政運営に反  
映させるという観点  
から、行政が先導的  
立場で市民をリード  
することは、まちづ  
くりの基本的理念か  
ら逸脱する。市民の  
意見は真摯に受け止  
めるべきでは。



複合化される旧市民病院西棟

**Q** 旧市民病院西棟の市民ニーズを問う  
**A** 市の考えを丁寧に説明し理解に努める



会派に所属しない議員  
田村 優樹

**質問** 西棟の管理運営基本方針案は、老人福祉の目的や公民館機能が軽視され、単なる貸館としか感じられないという市民意見がある。市では、時代にマッチした公共施設の在り方を実現するためには、利用形態などの在り方も変貌せざるを得ず、先導的な実践が求められるとの考えだが、まちづくりの基本として、行政は市民を支援する

**答弁** パブリック・コメントには、施設の広さや備品等、予約方法や料金等の受益者負担に関するものなど、多数の意見を頂戴し、現在、集計・分析を進めている。管理運営基本方針に反映できない意見についても、検討した内容や理由等、市の考え方を丁寧に説明し、理解いただけるよう努めていく。

**Q** 人口減少と未来予測に基づき長期政策を  
**A** 今後とも長期的な視点を持って取り組む



創政クラブ議員団  
肝付 隆治

**質問** 舞鶴市の20年後の人口推計は、現在より2万人以上の減少が予測されており、人口減少は年々加速化している。医療機関の存続やインフラの整備など人口減少によるさまざまな課題は今後さらに深刻化すると思われる。20年後の未来予測に基づく長期政策を検討し対策を考えておく必要があるのではない

**答弁** 市は2030年のあるべき姿を見据え「第7次舞鶴市総合計画」に基づき、未来

起点のバックキャスト型の施策を展開している。今後とも長期的な視点を持ち、社会環境の急激な変化にも迅速かつ、柔軟に対応可能な「心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現に取り組んでいく。

**Q** 社会教育で地域づくりを

**A** 関心型社会を基本理念に

**質問** 20年後の将来を見据えたこれからの地域コミュニティ施策として、社会教育が重要と思うが方針を問う。

**答弁** 「ゆるやかな人がつながる地域を指して、あなたが輝く関心型社会」を社会教育の基本理念とし、地域づくり、人づくりを推進していく。



深刻化する人口減少と高齢化

**Q** 高野川流域の治水対策はいかに  
**A** 護岸補強工事等の発注準備をしている



新政クラブ議員団  
水嶋 一明

**質問** 高野川流域においては、京都府の第1期工事が完成すれば、平成16年の台風23号程度の浸水被害は概ね解消、軽減できると見込まれているが、川床掘削護岸工事等の進捗状況を問う。

続き土質調査と高野川東側の国道175号から新大橋区間の護岸補強工事に向け、発注準備をされている。

**Q** 高野川整備区間外の対応は

**A** 地元の意見を聞き推進する

**質問** 高野川の第2期区間整備について、計画区間とそうでない区間の整備をどのように進めるのかを問う。

**答弁** 昨年度は、円隆寺橋周辺の4カ所でフラップゲートを設置し、今年度も引き続き実施していく。高野川流域整備区間外の治水対策は、府と十分に連携を図り、地元の皆さまの意見をしっかりと聞き、鋭意、事業推進に取り組んでいく。



住民要望により実施の浚渫工事

令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問



存続が望まれる文庫山学園

**質問** 文庫山学園と東公民館等の機能移転集約は、文庫山学園の事実上の廃止で、老人福祉施策の後退である。当初は「機能移転」とされており、今回の方針は突然出されたもの。市民置き去りとの市民感情は当然。公民館・文庫山学園、それぞれの機能強化が重要。文庫山学園は廃止から充実へと舵を取り直すべきではないか。

**答弁** 移転・集約化の中で、よりきめ細かなニーズに応えた高年齢者の健康増進事業を他の公民館も含め展開。生き甲斐を持って地域で活躍していただくことを支援する役割を一層充実強化するもの。

**質問** コロナ禍の下、子どもたちの安心安全を確保しながら奮闘している保育士・放課後児童クラブ支援員へ、福知山市・綾部市では市独自で慰労金を支給している。本市も支給すべきではないか。



整備しても追いつかない竹林

**質問** 本市の竹林面積は京都府内で1位、府内竹林面積の25%を占めるなど、全国でもトップクラスと言われており、増え続ける放置竹林が問題となっている。整備に本腰を入れて進めるためには、ボランティアでは限界があり、竹を利用した産業の展開が必要であるが、市の考えを問う。

**答弁** まいづる竹林整備・竹活用ネットワーク協議会では、燃料や肥料など竹の活用方法を研究されてきた。今年度から試験的に国産メンマ製造に取り組み、竹の活用方法を研究し、ビジネス化を目指す。

**質問** コロナ禍で人の動きが停滞する状況が今後も続くと考えられる。ICTを活用した農作物の新たな販路開拓を進めることが必要だが、市の考えは。

**答弁** コロナ禍で農作物の需要が減少する中、新たな顧客を取り込むためには、遠隔地に向けた本市農作物の魅力発信などが有効。ICTを活用した販路開拓を進めることが必要と考える。



市内の身近なウォーキングコース

**質問** ウォーキングには有酸素運動であり、健康増進につながる。歩いた距離が分かるような路面表示や除草などの整備や、ウォーキングマップを作成し、ウォーキングを楽しみながら健康維持を図ってもらいたいと考えるがいかがか。

**答弁** 歩道の除草については年1回を基本に実施しており、適切な維持管理に努めるとともに、距離表示についても検討を進める。「オクトーバー・ラン&ウォーク2020」に本市が参加することに伴い、既存のウォーキングマップをリニューアルし、市内の代表的なコースを紹介する新たなマップの作成を予定している。

**Q** 文庫山学園の事実上の廃止計画見直しを  
**A** 移転・集約化の中で充実へと転換する



日本共産党議員団 伊田悦子

**Q** 整備した竹の利活用について市の考えは  
**A** 国産メンマの製造等ビジネス化を目指す



会派に所属しない議員 鳴田秋津

**Q** スマートウエルネスシティ施策の充実を  
**A** ウォーキングロードの整備を行う



創政クラブ議員団 高橋秀策

**Q** 夕潮台公園の眺望を  
**A** 樹木の伐採を行う

**質問** 夕潮台公園は、手頃な高さで市街地や海、赤れんがパークなども違った角度から眺望できる良い場所だと思いが、頂上付近だけでも整備ができないか尋ねる。

**答弁** 樹木が成長し眺望を阻害しているため、調査の上、樹木の伐採について取り組んでいく。

令和2年9月14日、15日、16日に本会議を開き、17人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



学生と共に育つ臨床

**質問** 市民病院は、経営の安定により市民の関心の目は、診療と看護の質を求めるものに変わると推測する。今後、さらなる企画・運営が求められる。市民病院は現在、実習病院としての受け入れをしていない。受け入れ施設は、一定の看護の質と基準が必要で、学生の実習受け入れは、臨床現場の質向上と活性化につながる機会でもある。今後の受け入れについて伺う。

**答弁** 現在、看護部

**Q** 今後、市民病院での看護実習受け入れは、令和4年に受け入れができるよう準備中か



新政クラブ議員団 田畑 篤子

**答弁** 在宅療養での廃棄物は、週2回の集積場での回収となる。持ち込みに関して、料金は免除である。現在の紙おむつ用の袋と同様の取り扱いである。

**Q** 在宅療養の廃棄物処理は、集積場での回収と料金免除

は慢性期病床として、実習指導者の育成も高い、体制整備に努めている。令和4年度の実習受け入れに向けて準備している。

**質問** 以前に質問した項目である。在宅療養での廃棄物は、持ち込みが原則で、関係者からは集積場での回収について希望があった。来年度のごみ処理改正に伴い変更はあるか。

**Q** 指令センター共同運用の利点と課題は、経費の低廉化、それぞれ異なる出動体制



新政クラブ議員団 上野 修身

**答弁** 総務省・消防庁において、小規模な消防本部では保有する消防用車両や専門要員の確保に限界があることや、財政運営面・組織管理での厳しさなど、消防体制が十分でないとの判断から、平成6年「消防広域化基本計画」の策定を全国に通達し、消防の広域化は消防力の強化につながる。今回提案の「京都府中・北部地域消防指令事務協議会」の設置は、亀岡市以北の7市3町6消防本部で、指令センターを共同運用するための協議会を設置するものと認識している。指令センター共同化の利点と課題

**質問** 総務省・消防

について伺う。

**答弁** 利点として共同で整備することにより消防本部ごとの経費を大幅に低廉化、より充実した消防指令システムの運用が可能となり、また、各消防本部の管轄区域を超えた相互応援協定に基づく災害出動が迅速に行える。課題は、指令員に対する不慣れな地名による通報や、各消防本部の異なる出動体制の対応等が負担と考える。



現在の舞鶴指令センター

政治家からの寄附禁止

政治家の寄附は禁止！  
有権者が政治家に寄附を求めることも禁止！

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

また、冠婚葬祭における贈答なども寄附になります。市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

※政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀、葬式や通夜における香典については、罰則の対象から除かれています（選挙に関してなされた場合や、通常一般の社交の程度を超えている場合は処罰されます。）。

例



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入



町内会の集会・旅行等の催し物への寸志・飲食物の差入



お歳暮・お年賀入札祝・卒業祝・病見舞

総務省のホームページに「選挙・政治資金」について掲載されております。このコードからご覧いただけます。





## 市議会ホームページ・Facebookの紹介 手話通訳者・要約筆記者の配置、12月定例会の予定

### 本会議の映像配信

本会議の映像を、スマートフォン、タブレット端末やPCなどでご覧いただくために、動画共有サービスYouTubeでインターネット配信を行っています。  
詳しくは、舞鶴市議会ホームページで。



舞鶴市議会 検索



### 公式Facebookの紹介



「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を掲載しています。多くの「いいね！」をお待ちしております。



Facebook ページ名：「舞鶴市議会」

URL : <https://www.facebook.com/maizurushigikai.kyoto>



### 12月定例会予定

11月

26日(木) 本会議(開会)



12月

- 3日(木) 請願受理締切
- 8日(火) 本会議(一般質問)
- 9日(水) 本会議(一般質問、質疑)
- 10日(木) (本会議(一般質問、質疑)予備日)
- 14日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 15日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 21日(月) 予算決算委員会
- 25日(金) 本会議(閉会)

※一般質問が9日に終了する場合は、10日の本会議は開催されません。

※予定は変更することがあります。

### 議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会等はどこからでも傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

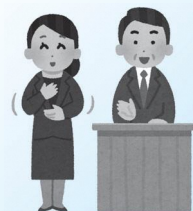
### 手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴する場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承ください。

詳しくはホームページをご覧ください。



意見書

9月定例会で可決した「新型コロナウイルス感染症に係る意見書」は次のとおりです。

▽新型コロナウイルス感染症に係る意見書

新型コロナウイルス感染症が国内で発生してから9か月が経過し、日々、感染者は発生するものの国内においては一定の減少傾向となり、「GOTOトラベル」等、国の経済復興策も順次、始まっている。しかしながら、世界的には南米、インドなどの感染拡大や第二波の感染も広がりつつあり、その影響も大きく、今までの社会経済活動や市民生活等々のあり方を根本から見直すことが必要となっている。新たな脅威である感染症の拡大防止を行うにつ、同時に日常を取り戻す「新しい生活様式」を見据えた取組を将来に向かって進めて

いく必要がある。そのため、今年度の緊急的な対策のみならず、長期的な視点に立つ、継続的な復興策を実施すべく、次の事項について強く要望する。

▽地域医療体制の確保に向けて

1. 医療機関に対する経営支援及び医療従事者への支援

感染症が長期化する中、多くの医療機関の経営が逼迫している。感染症対応での受入体制確保による費用増、受診控えによる患者数の減少など、医療機関の経営を大きく圧迫し、地域によっては感染症患者のみならず地域医



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会で見聞録について議論

療全体の崩壊を招く危険性を生んでいる。地域医療の体制確保の観点から感染症対策を含めた地域医療機関への継続的な支援を行うこと。あわせて、安心の地域医療の継続に繋がる医療従事者等の人員確保や直接的な支援を行うこと。

▽地域経済の復興に向けて

2. 中小企業や個人事業者等への融資・支援制度等の充実、継続的な経済対策

過去最大の落ち込みとなった実質GDP、地元金融機関の景況調査によるリーマンショック以来の下げ幅となるなど、地域経済の疲弊は一層進み、今後も長期化することが予想される。そのことから中小企業や個人事業者等の融資制度の拡充、支援制度の充実、利用しやすい環境の整備を図る等、復興のきつかけとなる継続的な経済対策を実施すること。

療全体の崩壊を招く危険性を生んでいる。地域医療の体制確保の観点から感染症対策を含めた地域医療機関への継続的な支援を行うこと。あわせて、安心の地域医療の継続に繋がる医療従事者等の人員確保や直接的な支援を行うこと。

3. 公共交通への継続的な支援

鉄道、バス、タクシー等の市民や観光客の大切な移動手段となる公共交通については、コロナ禍により収益が大幅に悪化し、その存続も危ぶまれている。社会経済活動に重要な役割を担う公共交通の崩壊を招くことがないよう、国の施策として継続的な支援を実施すること。

4. 新たな雇用の創出に向けた取組

感染症の拡大に伴う失業率が悪化する中、リーマンショック時と同様の緊急雇用創出事業等の制度創設による対策を講じること。

5. 国際貿易港における感染症水際対策の強化

地方都市の発展には空港のみならず港湾が重要な役割を果たしている。国際貿易港である京都舞鶴港においても、国際フェリーや大型クルーズ船の寄港を踏まえ、感染防止に係

る港湾における水際対策の充実強化を図ること。

る港湾における水際対策の充実強化を図ること。

▽偏見・差別への取組等

6. 感染された方、医療従事者等への偏見・差別の防止に向けた取組強化

当事者への非難、誹謗中傷については、平穏な社会生活を送る妨げとなるのみならず、感染症拡大防止に支障が出る恐れがあるなど、国を挙げて克服すべき喫緊の課題と捉え、広報や教育・啓発、相談窓口などの充実強化を図ること。

▽自治体への財政支援等

7. 地域事情に応じた感染症や経済復興等の対策を行う自治体への財政支援

各自治体においては緊急的な対策を実施するも、地域経済への影響から地方税の減収や延納等が見込まれ、今後も自治体財政を圧迫することが予想される。地方創生臨時交付金の効果的な活用を図る観点から、翌年度への繰

越や基金への積み立て要件の緩和、また次年度以降の取組に対する継続的な自治体財政への支援を行うこと。

8. 行政手続きのオンライン化の速やかな実施

デジタル・ガバメント実行計画において予定されている地方自治体等の行政手続きのオンライン化について、感染症の影響と将来の行政手続を踏まえ、必要な情報システムの統一的な整備を加速化させるとともに、それに伴う地方自治体への財政支援を速やかに行うこと。



本会議での意見書提案説明

# 特別委員会の活動報告 附帯決議

## 特別委員会の 活動報告

### 原子力防災・ 安全等特別委員会

今期（第20期）は、平成30年12月に、高浜発電所等に係る原子力防災・安全性の調査研究および審査を行う「原子力防災・安全等特別委員会」を設置。

8月24日の委員会では、高浜発電所所長等を参考人として招致し、高浜発電所の安全性向上のための対策工事について、その実施状況を調査しました。



委員会の様子



参考人からの説明

また、委員会の終了後には勉強会を開催し、京都府において発表された緊急時迅速放射能影響予測システム〔SPEEDI（スピーディー）〕を用いた「関西電力高浜、大飯両原発で同時に事故が発生した状況を想定した放射性物質拡散予測」の調査内容および調査結果への理解を深めました。

当特別委員会では、今後も引き続き、市民の皆さまの安心・安全の確保に向けて、原子力防災・安全等に係る動向を注視し、調査・研究・審査等に取り組んでまいります。

### 市内造船事業に関する 調査特別委員会

ジャパンマリコンナ イテッド株式会社（JMU）舞鶴事業所の新造船事業撤退の表明を受け、これに伴う市内事業所への影響を調査し、議会として必要な措置を検討・実施するため、令和2年2月に「市内造船事業に関する調査特別委員会」を設置。

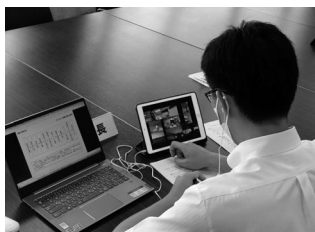


参考人からの説明

これまでに執行機関からの報告を通じた状況の把握等に取り組んだほか、7月15日には、同事業所の管理部長を参考人として招致し、対応の経過や今後の見通しなどの説明を受けました。引き続き、動向を注視しながら必要な活動を行うことを確認しました。

### 議会活性化特別委員会 （ICT活用検討の取組）

議会活性化特別委員会は平成30年12月に設置し、議会の活性化に係るさまざまな事項に取り組んでまいりました。本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大なども踏まえ、議員が参集できない事態においても、議会機能が維持できるよう、ICT技術を活用したオンラインによる会議運営の可能性等の検証に取り組んでおります。



オンラインでのデモ会議実施の様子

また、併せて、感染症に対応する「新しい生活様式」を踏まえた議会運営に取り組み、機能強化を図ることとしております。

## 決議

9月定例会で可決しました第80号議案に係る附帯決議の内容は次のとおりです。

「舞鶴市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定」に対する附帯決議

ごみ処理体制の維持及び受益者負担の適正化を図るため、可燃ごみの処理手数料を改めるとともに不燃ごみの有料化については、SDGs（持続可能な開発目標）の理念を踏まえ、ごみ処理の適正化及び3Rの推進に極めて重要な取組であると考えられることから手数料の改正については市民生活に直結する点とともに、市民の十分な理解と協力が必要と考えられており、舞鶴市議会として、その趣旨・目的等について市民への周知と理解を図っていくこととしている。そのため、執行

機関及び関係者においても、次の点について十分に留意いただきたい。

- 1 新たな手数料が発生することから、負担の公平性等、市民から寄せられた意見を踏まえ、その趣旨について市民に十分理解していただけるよう、様々な施策を翌年7月の施行までに講ずること。
- 2 ごみ処理手数料、施設搬入手数料等の徴収方法及びごみ処理手続きの具体的な運用について、速やかな市民への周知等、適切に対応を行うこと。

3 条例施行後においても、市民生活に大きく影響を与えるものであることから、市民理解が得られるよう、十分な説明を行い、丁寧な対応を行うこと。

以上、決議する。



本会議での決議提案説明

## 防災訓練の実施、編集後記

## 議場において防災訓練を実施



9月1日(防災の日)に、傍聴者も含めた議場参集者の安全・確実な避難の方法を確認するとともに、議員の防災意識の高揚を図り、減災につなげることを目的に、本会議開催中における大規模地震の発生を想定した防災訓練を実施しました。

当日は、市の危機管理担当部局の立会いのもと、全議員が参加し、後日、「舞鶴市議会における災害対応に係る行動マニュアル」(平成28年10月策定)について、傍聴者の誘導方法など、実際の訓練を踏まえた検証を行いました。



議場での避難訓練の後には、災害時に議員が参集できない場合を想定し、舞鶴市議会災害対策・支援本部をオンライン会議にて開催し、非常時におけるICT技術を導入した対応についても検証しました。



## ～ 防災訓練を終えて～

地震を想定した防災訓練を議場において初めて実施。傍聴者の避難誘導や身の安全の確保など、議員各自の役割・行動を再確認するきっかけとなりました。

災害はいつ起きるか分かりません。日頃の対策・準備が必要であり、引き続き、市と連携し、安心・安全のまちづくりに取り組んでまいります。



## 【議会報編集委員会】

部会長	鯛	慶一
副部会長	杉島	久敏
委員	伊田	悦子
委員	肝付	隆治
委員	眞下	隆史

地震を想定した防災訓練を議場において初めて実施。傍聴者の避難誘導や身の安全の確保など、議員各自の役割・行動を再確認するきっかけとなりました。

災害はいつ起きるか分かりません。日頃の対策・準備が必要であり、引き続き、市と連携し、安心・安全のまちづくりに取り組んでまいります。

「どうか今後とも「まいづる市議会だより」をご支持いただき、引き続き「愛読いただきますようよろしくお願い申し上げます。」

(副部会長 杉島久敏)

市民の皆さまには、昨年度末より、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めていただき感謝申し上げます。さまざまな規制や要請をお願いする中において、「新しい生活様式」の定着に向けた取り組みが進み、次号からは、新メンバーによる「市議会だより」の発行となります。

「まいづる市議会だより」を手に取り、ご愛読いただき、誠にありがとうございます。現議会報編集委員会メンバーによる発行は、今回をもちまして最後となります。

## 編集後記

「まいづる市議会だより」を手に取り、ご愛読いただき、誠にありがとうございます。現議会報編集委員会メンバーによる発行は、今回をもちまして最後となります。